

新型コロナ・ワクチンに関するニュースの 正誤判断と情報共有判断：

東北学院大学生を対象にしたアンケート調査の分析結果

東北学院大学経済学部 佐々木周作ゼミ3年

正しい？正しくない？

「新型コロナ・ワクチンの接種は、“不妊症” や
“流産”の原因になる」

- TwitterやFacebookで4000以上シェアされている。
- ある整形外科医が示したものであり、検索ランキングの上位1～2番目に表示されている。
- 別の開業医も不妊に関する言説を取り上げており、「そもそも妊娠できる体ではなくなる」などと記している。
- 大学教授がYouTube上の「ネットTV局」などで発信している内容にも、「1～2年後に不妊になっている可能性が高い」という同様の言説があった。

2

正解：正しくない

「新型コロナ・ワクチンの接種は、“不妊症”や“流産”の原因になる」



フェイク・ニュース

『センセーショナル性を持ち、広告収入や、著名人・政治運動・企業などの信用失墜を目的としたオンライン上で広く共有されるように作成された偽のニュース記事』 [2019 総務省]

3



総務省が2020年5月に新型コロナウイルス感染をめぐる**フェイク・ニュース**についての調査を実施。

→学業や仕事での使用を除き、週1日以上インターネットを利用する15～69歳の男女2000人に17種類のフェイク・ニュースを示した。

結果

1つでも見聞きした人は**72%**

→そのうち偽情報を信じたり、真偽がわからなかったりした人は**76.7%**

偽情報を信じた人の割合は60歳代で**20.0%**

→15～19歳は**36.2%**、20歳代は**34.4%**



若い年代ほど受け入れやすい

4



なぜフェイク・ニュースってよくないの？

新型コロナ・ワクチンのフェイク・ニュースが若い人たちの間で広がると…



ワクチンを打つつもりだった人が消極的になり、接種率が高まらない。



新型コロナウイルス感染症のパンデミックの終息につながらない。

- ① 変異株の出現で若者の重症化リスクが上がる。
- ② 他人に感染させない。



フェイク・ニュースの拡散を抑制させる必要がある。

5



検証内容

- I ニュースの正誤判断を正確にできているのか
- II 誤情報と分かっても周囲と共有しようと思う人がどれくらい存在するのか
- III 誤情報の共有を抑制することは可能であるか

6



検証内容

III. 誤情報の共有を抑制することは可能であるか



事前にニュースの正誤判断をさせることで、情報共有判断にどのような効果を与えるかを把握する。

Pennycook et al,
(Nature 2021)

行動経済学の「ナッジ」

7

アンケート調査概要

対象

東北学院大学経済学部生であり、「行動経済学」と「情報経済論」を受講する学生のうちの**293名**

※任意で回答

実施期間

2021年6月27日～7月4日

8

ニュースの見出し

真のニュースの見出しを4つ } 8つを提示
偽のニュースの見出しを4つ }

賛成派：真

「2021年5月31日時点で、139名が新型コロナ・ワクチンの接種後に亡くなっているが、ワクチン接種が死亡の原因であると断定できる例はまだない」

「新型コロナ・ワクチンの接種で健康被害が生じた場合に備えて、救済制度が整えられている」

賛成派：偽

「新型コロナ・ワクチンの接種後にアナフィラキシー・ショックが発生した例は、日本ではまだ報告されていない」

「新型コロナ・ワクチンの接種を受けた人は、マスクを着用する必要はない」

反対派：真

「奈良県で、新型コロナ・ワクチンの代わりに食塩水のみが注射された事例があった」

「若者には、高齢者に比べて、新型コロナ・ワクチンの接種を希望していない人が多い」

反対派：偽

「新型コロナ・ワクチンは、人間の遺伝子を組み替えることを目的として開発された」

「新型コロナ・ワクチンの接種は、不妊症や流産の原因になる」

9



実際に行った調査のニュースの見出しの順番（全員共通）

(1) 反対派：偽

「新型コロナ・ワクチンは、人間の遺伝子を組み替えることを目的として開発された」

(2) 賛成派：真

「2021年5月31日時点で、139名が新型コロナ・ワクチンの接種後に亡くなっているが、ワクチン接種が死亡の原因であると断定できる例はまだない」

(3) 反対派：真

「奈良県で、新型コロナ・ワクチンの代わりに食塩水のみが注射された事例があった」

(4) 賛成派：偽

「新型コロナ・ワクチンの接種後にアナフィラキシー・ショックが発生した例は、日本ではまだ報告されていない」

(5) 反対派：真

「若者には、高齢者に比べて、新型コロナ・ワクチンの接種を希望していない人が多い」

(6) 賛成派：真

「新型コロナ・ワクチンの接種で健康被害が生じた場合に備えて、救済制度が整えられている」

(7) 反対派：偽

「新型コロナ・ワクチンの接種は、不妊症や流産の原因になる」

(8) 賛成派：偽

「新型コロナ・ワクチンの接種を受けた人は、マスクを着用する必要はない」

10



質問内容

情報共有判断

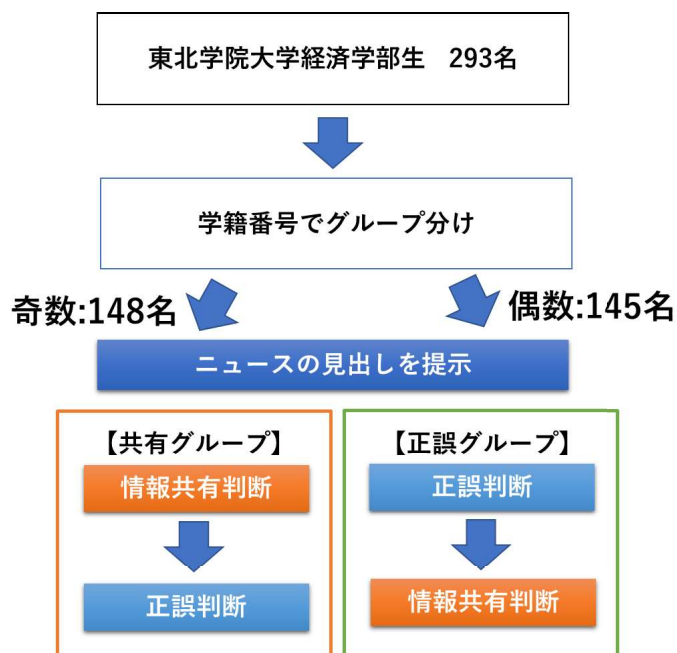
問5 下記には、【新型コロナウイルス感染症に関するニュースの見出し】が提示されています。TwitterなどのSNSでニュースの見出しが流れてきたとき、あなたは、その情報を家族や友人に【共有しよう】と思いますか。（※1つ1つのニュースをしっかりとreadした上で、回答してください）

- 共有する 共有しない

正誤判断

問6 下記には、【新型コロナウイルス感染症に関するニュースの見出し】を提示しています。あなたは、下記のニュースの見出しを【正しい情報】だと思いますか。（*1つ1つのニュースをしっかりとreadした上で、あなたの考える通りに回答してください）

- 正しいと思う 正しくないと思う



バランス・チェック

X→正誤グループを1、共有グループを0

Y→性別・年齢・家族構成などの属性情報

名称	共有(平均) N=148	正誤(平均) N=145	差分	標準誤差	t 値
女性比率	0.291	0.234	-0.056	0.052	-1.088
年齢	20.682	20.634	-0.048	0.092	-0.519
同居家族の人数	2.811	2.648	-0.163	0.185	-0.878
祖父母がいるか	0.223	0.283	0.060	0.051	1.176

これらの属性情報についてグループ間で統計的に有意な差がないことが分かった。

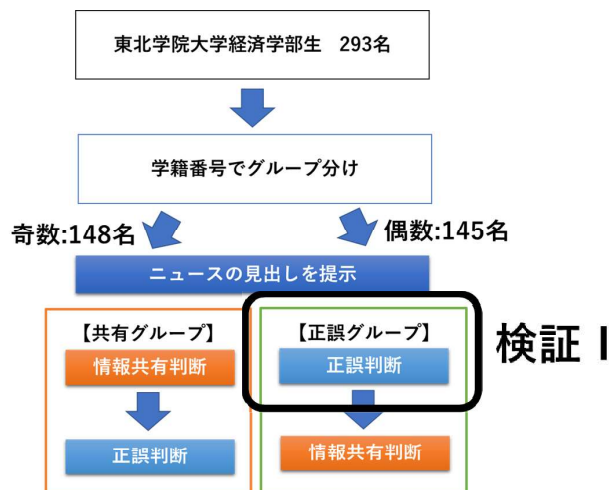
⇒ **正誤グループと共有グループは統計的に類似した人たち**

13



調査結果

検証Ⅰ ニュースの正誤判断を正確にできているのか



検証Ⅰ

14



八つのニュースの正答率と平均

	賛成派寄りの 真のニュース (2)		賛成派寄りの 偽のニュース (4) (8)		反対派寄りの 真のニュース (3) (5)		反対派寄りの 偽のニュース (1) (7)		平均
	死亡	救済制度	アナフィラキシー	マスク	食塩水	若者	遺伝子	不妊症	
正誤グループ 正答率	66.9%	51.0%	66.2%	90.3%	37.2%	75.2%	87.6%	81.4%	69.5%

真のニュースの正答率・・・57.6%

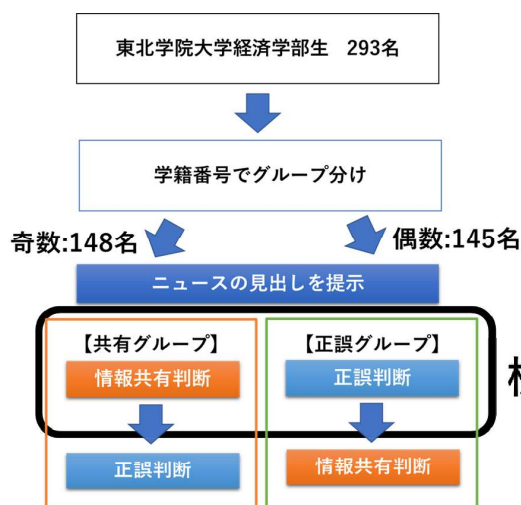
偽のニュースの正答率・・・**81.4%**

検証結果

約8割の回答者は、フェイク・ニュースを間違いであると正確に判断できていることが確認された。

15

検証Ⅱ 誤情報と分かっているにもかかわらず周囲と共有しようと思う人がどれくらい存在するのか



検証Ⅱ

16

八つのニュースの共有率と正答率とその平均

	賛成派寄りの 真のニュース (2)		賛成派寄りの 偽のニュース (4) (8)		反対派寄りの 真のニュース (3) (5)		反対派寄りの 偽のニュース (1) (7)		平均
	死亡	救済制度	アナフィラキシー	マスク	食塩水	若者	遺伝子	不妊症	
正誤グループ 正答率	66.9%	51.0%	66.2%	90.3%	37.2%	75.2%	87.6%	81.4%	69.5%
共有グループ 共有率	63.5%	69.6%	52.0%	27.0%	52.0%	57.4%	31.1%	45.3%	49.7%

真のニュース

平均正答率・・・57.6%

平均共有率・・・60.6%

偽のニュース

平均正答率・・・81.4%(18.6%が正しいニュースだと誤解している)

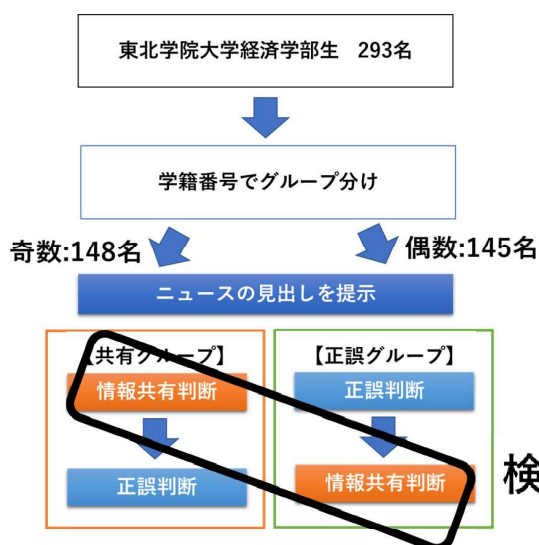
平均共有率・・・38.9%

検証結果

共有しようとする人の中に、**間違いだとわかっていながらも共有する**と考える人がいる。

17

検証III 誤情報の共有を抑制することは可能であるか



18

全体の推定結果

		賛成派寄りの 真のニュース		賛成派寄りの 偽のニュース		反対派寄りの 真のニュース		反対派寄りの 偽のニュース			
		(2)	(6)	(4)	(8)	(3)	(5)	(1)	(7)		
		死亡	救済制度	アナフィラキシー	マスク	食塩水	若者	遺伝子	不妊症		
全体	N=293	正誤判断		-0.33***	-0.21***	-0.24***	-0.06	-0.13**	-0.19***	-0.15***	-0.14**
				(0.06)	(0.06)	(0.06)	(0.05)	(0.06)	(0.06)	(0.05)	(0.06)
		定数項		0.64***	0.70***	0.52***	0.27***	0.52***	0.57***	0.31***	0.45***
				(0.04)	(0.04)	(0.04)	(0.04)	(0.04)	(0.04)	(0.03)	(0.04)

検証結果

事前に正誤確認させることが全体的にニュースを共有する意向を引き下げた。



(1)(7)のような反対派寄りの偽のニュースの共有を抑える効果がある。

(2)(6)のような真のニュースの共有をも抑制する可能性がある。

19

ワクチン賛成派・反対派の検証

新型コロナ・ワクチンの接種を【受りたい】か

- | | | |
|---------------|---|---------|
| 1. そう思う | } | ワクチン賛成派 |
| 2. ややそう思う | | |
| 3. あまりそう思わない | } | ワクチン反対派 |
| 4. まったくそう思わない | | |

検証結果

反対派グループにとって都合のよい情報を正誤判断をさせることによって共有を大きく抑制させられることがわかった。

例：(1)「新型コロナ・ワクチンは、人間の遺伝子を組み替えることを目的として開発された」

→賛成派グループは10%ポイント程度共有率↓

反対派グループは24%ポイント程度共有率↓

20

まとめ

検証内容

- I. ニュースの正誤判断を正確にできているのか
- II. 誤情報と分かっているにもかかわらず周囲と共有しようと思う人がどれくらい存在するのか
- III. 誤情報の共有を抑制することは可能であるか



検証結果

- I. 誤情報を正確に判断できている
- II. 正確に判断できている人の中に周囲と共有しようと思う人が一定割合存在する
- III. 事前に正確さを意識させる介入を行うことで、誤情報の共有を抑制できる

ワクチン賛成派・反対派の検証結果

ワクチン反対派にとって、都合の良いニュースも都合の悪いニュースも共有率を下げる効果が観測された。

事前に正誤判断を意識させる介入を行うことが正確な情報共有を促すにあたって有効。

ただし、正しいニュースの共有も下げてしまうことが課題

